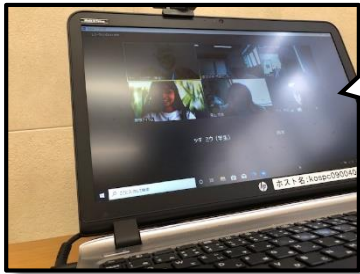


ICPとは...仙台市教育委員会が主催する「若者」による地域活性化事業（若者地域参画型学習事業）で、仙台市各区で実践されています。泉区では泉区中央市民センターを拠点に、通勤や通学で泉区にかかわる若者たちが、泉区の活性化を目指し、地域（まち）づくりにつながることを考えて実践する自主企画講座（受講者たちが企画運営する講座）です。



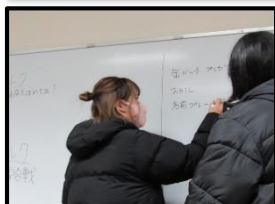
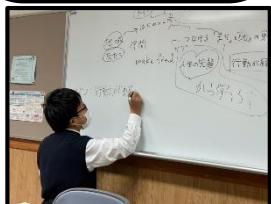
新型コロナウイルス感染症対策のためZOOM（オンライン会議システム）を利用したミーティングを実施しながらスタートしました。オンラインにすることで、これまでつながることができなかった、県外や市外の方の協力も得ることができました。その中で、今年はPRの年にして認知度を高めることを主におき活動する方向に決定しました。

PR方法その1として、気軽に付けられるバッジを作成し、多くの方々に着けてもらうことを考えました。市外の参加者にも配付し、協力いただきました。



新規参加者も加わり、次なるPR方法を検討しました。その中で、泉区の資源である冬の泉ヶ岳を活用して、大学生にICPのPRと学生同士のつながり、地域づくりの学習会の実施を進めることにしました。

活動場所を確認し、当日のアイデアにつなげたり、講師の先生について教えていただきました。



その後も何度も対面やオンラインで集まり、会議を重ね、実際に企画の実施につなげました。

当日の様子はこちら！



令和2年度CP企画 行動力経験なる はじめの歩は 泉ヶ岳で～人生の先輩から学ぶ～(2月13日実施)



オーエンス泉岳自然ふれあい館に到着して最初に館内を利用したレクリエーションを行い、参加者間の交流を図りました

当日は快晴で、温かい気温の中、活動ができました。

館内から移動して、泉ヶ岳の大自然を、体験しようと雪合戦や雪上鬼ごっこ、写真撮影を行いました。



午後は、根白石地区の若い世代(30～40代)で地域づくりに携わっている3名の方を講師としてお招きし、その意義や楽しさ、そして地域とともに生きる姿勢を学びました。

短い時間でしたが、3グループに分かれて、すべての講師の方と話をしたり、質問したりする時間を確保しました。「地域づくりと仕事との両立の仕方は？」等の参加者からの質問に対し、一つ一つ丁寧にお答えいただきました。



参加者感想 (一部抜粋)

- ・ 午後の部では何をしたいかわからない、という私の悩みの答えをもらった気がします。私なりの行動が出来ればなと思いました。
- ・ 街づくりやプロジェクト進行、卒業後のキャリアを考える機会になりました。中身が濃いものばかりで、短時間ながら充実したものになりました。
- ・ 地域づくりの主体になれるよう、自分の軸になる部分を強めていこうと思った。

